

エコドライブ10のすすめ

エコドライブとは、以下の例にある環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用をいいます。自動車から排出される大気汚染物質や地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生を極力少なくするため、以下の点を心がけて運転しましょう。

1. 無用なアイドリングをしない。(アイドリングストップ)

10分間のアイドリングで約140ccの燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車の際にはできるだけアイドリングを止めましょう。

2. 無用な空ぶかしをしない。

10回の空ぶかしで約60ccの燃料を浪費します。無用な空ぶかしは止めましょう。

3. 急発進及び急加速をしない。

10回の急発進で約170cc、10回の急加速で約110ccの燃料を浪費します。急発進及び急加速は止めましょう。

4. 交通の状況に応じた安全な定速走行に努める。

減速、加速を繰り返し速度を変動させて走行した場合、100kmの走行で約210ccの燃料を浪費します。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

5. 早めにシフトアップする。

エンジン回転数が高いとより多くの燃料を浪費します。常に高めのギアで走行するようにしましょう。オートマチック車では、OD(オーバードライブ)を活用するとともに、加速時にあまりアクセルを踏み込みすぎないようにしましょう。

6. 減速時には、エンジンプレーキを活用する。

エンジンプレーキを使用し、40km/hで1分間下り坂を走行した場合、エンジンプレーキを使わないで走行した時に比べて約15ccの燃料が節約されます。減速したり、坂道を下る時にはエンジンプレーキを活用しましょう。

7. 確実な点検・整備を実施する。(タイヤの空気圧、エア・クリーナ・エレメントの状態等)

タイヤの空気圧低下、エア・クリーナ・エレメントのつまりは燃料を浪費します。空気圧0.5kgf/cm²減のタイヤで100km走行した場合、約240ccの燃料を浪費します。タイヤの空気圧、エア・クリーナ・エレメントを定期的に点検・整備しましょう。

8. 不要な荷物を積まない。また、燃料をむやみに満タンにしない。

10kgの不要な荷物を載せて100km走行した場合、約21ccの燃料を浪費します。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。また、燃料切れとならないように、走行距離に見合った給油を心掛けましょう。

9. エアコンの使用を控えるにする。

エアコン使用時にはエンジンの負荷が大きくなるため、燃料の使用量が増加します。エアコンの使用を控えるとともに使用する場合にあっては適正な温度に設定しましょう。

10. 計画的なドライブをする。

道に迷って10分余計に走行すると約350ccの燃料が浪費されます。行き先及び走行ルートをあらかじめ決めた上で計画的なドライブをしましょう。